

「育ちと学びをつなぐ」  
幼保小連携・接続版③

# 遊び学び育つひろしまっ子!

## 連携・接続とは…

**連携**  
子供同士の交流や  
教職員同士の交流など

**接続**  
教育課程の編成・実施

連携した子供の発達や指導の工夫等をもとにカリキュラムの編成・実施を行い、さらに子供の具体的な姿からカリキュラムを見直していきます。連携と接続は車の両輪のように、どちらも大切です。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染状況は落ち着いてきていますが、先生方の地域の幼保小連携・接続の取組は、どのような状況でしょうか。地域によっては、園・所と小学校がオンラインで交流するなど、対面しての交流に限らず、新しい形で連携されているところもあるようです。

今回のテーマは、「連携・接続に取り組もう」です。

## 子供同士の交流を**互恵性**のあるものに

幼児と児童の交流活動を実施する際は、幼児と児童のどちらもが主体的に活動する交流、**両方の育ちや学びにつながる(互恵性)交流**にすることが大切です。そのために、事前・事後に、子供の姿や活動のねらい等について、園・所と小学校の職員で丁寧に話し合ひましょう。併せて、お互いの教育・保育内容や指導方法の違い、共通点の理解を深めましょう。

### 事前協議

園・所と小学校の教員が協働体制で交流活動を進めるに当たっては、互いの教育内容等についての十分な理解と共同意識を高めることが不可欠です。

何のためにするのか、交流活動の意図について、共有しましょう。

【共通理解のポイント】

- ・ 幼児や児童の活動のねらい・活動内容の共通理解
- ・ 特に配慮を要する幼児児童の把握と共通理解
- ・ 園・所と小学校の教員の役割分担

### 交流活動

子供が緊張感や恐怖感をもたず安心できる雰囲気等への配慮が重要です。活動している子供の様子を観察しながら、柔軟に支援しましょう。

### 事後協議

一人一人の気付きを大切にしながら協議し、幼保小それぞれの立場からの見方・考え方を理解するとともに、日々の実践に生かしていきましょう。

【協議テーマ】

- ・ 具体的な場面を挙げての子供の育ちや学び、環境構成や教員の支援の在り方

**交流活動で得たことをもとに、カリキュラムを実態に即したものに改善していきましょう。**

メッセージ ～子供たちと向き合う先生方へ～ 安田女子大学 朝倉 淳 教授

日常で育つ、行事で育つ  
かつて秋は様々な「行事」のある季節でした。運動会、遠足、収穫祭……。園や学校の行事は、子供たちの日常生活に変化を与え、新たな成長の場や目標になるものです。子供たちは、行事を通して自己を発揮し力を合わせて伸びていきます。しかし、コロナ禍において、やむを得ず多くの行事が縮小、延期、中止となつていきます。誰もが悔しい思いをしています。

年に一度の行事が一回または二回続けて中止になると、子供たちの成長の場や目標だけでなく、その行事のイメージや運営の方法、様々な連携なども失われます。そして、園や学校の文化や伝統が途絶えてしまいます。

幼保小の連携・接続は、取り組みの開始早々にコロナ禍に直面しました。しかし、社会が激しく変化する中、連携・接続の必要性は一層高まっています。取り組みの継続や充実が、子供たちの成長を支えていくことでしょうか。

ほどなく新年を迎えます。お正月も大事な行事です。子供たちと一緒にお正月らしいお正月を過ごしたいですね。

朝倉教授には、本県の様々な取組に関して御指導をいただいています。多数の市町の幼保小連携協議会や合同研修会にもご助言をいただいています。



## 県内の幼保小連携・接続の取組紹介

### 東広島市 幼保小研修担当者研修

コロナ対策のため、10/19 八本松中央幼稚園、10/26 御園宇幼稚園、11/30 川上西部保育所と3会場に分かれ、保育参観・意見交流を実施しました。



保育参観後、園・所と小学校のそれぞれの立場から率直に意見交換をされていました。

### 廿日市市 幼保小連携協議会(11/25)

【協議内容】

- スタートカリキュラムの充実に向けて
- 保護者・地域への啓発について  
(リーフレットの内容検討)

Q & A があるとよいと思う。

園・所と小学校の違い(生活時間等)について触れられるといいですね。



写真がたくさんあった方が見たいかなのでは？

【構成メンバー】  
市内の小学校や園・所の長及び教諭、  
保育者、行政担当者

## コロナ禍における連携・接続！

～できるところからやってみよう～

学校案内の動画を作成・送付  
(1年生から年長児へ)

園・所と小学校で手紙(ビデオレター)のやりとり

夏季休業中の小学校で学校探検

オンラインで1年生と年長児が交流。

→画面越しに互いに言葉を聞いたり話したり意見交流ができました。



尾道市立木ノ庄東幼稚園

保育参観をオンラインで実施  
→事後協議はワークシート

子供たちに「どうすればできるかな？」と聞いてみるのもいいですね。

## 幼保小連携担当教員研修会

(日時: 令和3年10月5日・7日・13日・15日・19日・25日 13:15~16:45)

動画をもとに幼児教育に対する理解を深めるとともに、スタートカリキュラムの編成・実施・改善についての交流を行いました。

### スタートカリキュラム改善のポイント

学校教育目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
幼稚園教育要領(2018)																										
小学校学習指導要領(2017)																										
1年生年間指導計画に基づく学習活動の実施																										
ポイント1	園所での学びを踏まえた姿が分かる。												ポイント2 「主体的に自己を発揮している」姿として、学校として目指す姿が分かる。													
ポイント3	総合的・関連的な指導の工夫がされている。																									
ポイント4	弾力的な時間割の設定が工夫されている。→週の計画																									
ポイント5	「安心・成長・自立」に視点を当てた環境構成の工夫が分かる。																									
ポイント6	園・所との連携計画が見える。																									
ポイント7	組織的な取組になっている。																									

受講者の感想

- ・もっと柔軟に考えていいんだと思いました。
- ・子供たちの「やってみたい」から学びを始めることはもちろん、その学びや意欲をつなげていく必要があると感じました。
- ・スタートカリキュラムを実施する際は、該当学年だけでなく、学校全体で共同体づくりをする必要があると感じました。

### Check!

児童の状況等、実態は、学校によってそれぞれ違います。

子供たちの「安心して主体的に自己を発揮する姿」をイメージしながら改善していきましょう。

【発行元及び連絡先】広島県乳幼児教育支援センター

〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会事務局(県庁東館6階)

TEL (082)513-4978 FAX (082)212-3331

広島県乳幼児教育支援センターホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-index.html>

